

## 報連相の視点別深度表

	目的	相手	自己
レベル 1	<b>表面的理解</b> 表面的な文字・音声情報を認識し、発信、目的意識無し	<b>対象</b> 単なる情報の発信先と捕らえる	<b>こなす(義務的・处理的)</b> ~ねばならないことだから叱られる、注意されるから
レベル 2	<b>意味的理解</b> 情報の効果・影響を理解して発信できる	<b>協力者</b> 相手を自分軸の中で、協力者として位置づけ発信	<b>自主性・自発的発想</b> 積極的行動、発想やアイデア
レベル 3	<b>共感・志的理解</b> 情報に込められた背景や思いを理解し発信	<b>仲間・同士</b> 相手を仲間・同士・協働者と捕らえ信頼関係に基づき発信、対応	<b>互惠</b> 建設的・大局的発想 相手と自分の双方、組織にとってどうなのかという発想に基づく